

マイ・タイムライン

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取り組みましょう

ハザードマップで自分の家がある地区(住所)に危険区域があるか確認しましょう。

※ハザードマップは洪水や津波浸水、土砂災害による被害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある地区(住所)に「土砂災害警戒区域」・「浸水想定区域(洪水・津波)」のいずれかの色が塗られていますか？

いいえ

「浸水(洪水、津波)」・「土砂災害」について原則として避難の必要はありませんが、地図を確認し、周り比べて低い土地(過去の洪水での浸水範囲)や崖のそばなどにお住まいの方は、必要に応じて避難行動をとってください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、

①浸水する深さよりも高いところにいる

②浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢な建物の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

強い揺れや弱くても長い揺れがあったら津波を意識

はい

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

洪水や土砂災害に関する警戒レベル 3 が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

洪水や土砂災害に関する警戒レベル 3 が出たら、市が開設している指定緊急避難場所に避難しましょう

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

いいえ

洪水や土砂災害に関する警戒レベル 4 が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

洪水や土砂災害に関する警戒レベル 4 が出たら、市が開設している指定緊急避難場所に避難しましょう

津波警報、津波注意報が発表されたら、沿岸部や川沿いにいる人はできる限り高いところへ、より遠いところへ避難。

※避難する場合には9頁の「災害時の感染症対策」をふまえて避難しましょう。